



通常食



除去食(三色丼の卵をにんじんに変更)

食物アレルギー対策を強化せよ



玉城 勇 議員

問 町立、認可保育園に入所している園児で、食物アレルギー等を有する乳幼児は何人か。

民生部長 宮平保育所を含め、町内11か所の認可保育園で64人いる。

問 食物アレルギー等を有する乳幼児を保育している園に対して、財政的支援を検討しているかどうか。

民生部長 現在、県内市町村に国・県の補助はない。町単独の支援も難しい。保育園の経済的負担など現状は分かるので、どういう対応ができるか検討したい。

待機児童の解消を

問 将来出生数の予想と保護者のニーズ調査等を行っているか。

民生部長 平成27年度より計画・実施する子ども・子育て支援新制度において、利用者に子育てのニーズ調査を実施する予定である。

問 認可保育園に入所を希望しても入所できず、児童を家庭で保育している場合やグループで保育している場合、保育のための助成ができないか。

民生部長 家庭的保育事業というものがある。乳幼児の保育面積や対象児童が3〜5人以下などの要件に該当するようであれば助成できると考える。

就労支援のために

問 本町の発注事業に求職者を短期雇用できるように、依頼できないか。

答 町から元請業者に短期雇用等を直接依頼することはできない。

土地改良区内に停止線・位置表示板設置を

問 安全対策として土地改良区内の交差点に停止線を設置する計画はどうか。また、位置表示板設置の進捗はどうか。

総務部長 どちらもまだまだ検討中である。警察、地域、道路管理担当部局とも調整し、より有効な手立てを行っていきたいと考えている。